



「ふれあいの里山」 復活大作戦

日時	2019年 7月 6日(土) 9時00分～ 15時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	エコウイング会員／7名(午前のみ 1名、午後のみ 1名)、事務局／1名 計／8名

● 午前

今日は梅雨の中休みで、心配された雨も降らず予定どおりに活動することができました。朝9時に7名のメンバーが集まり、会議室でミーティングの後、いつものように公園内のコースに出て、昆虫を中心とした自然観察をしました。7月に入ってチョウやコウチュウ、カメムシなどのいろいろな昆虫を観察することができました。厄介者のやぶ蚊も活動が活発になり、蚊取り線香が必需品の観察会でした

● 午後

午後は、少し参加メンバー1名が入れ替わり、公園入口の竹林の整備に取り組みました。古くなった小径の竹を伐採し、元気な若くて太い竹を残して、健全な竹林が育つようにしていきました。また、公園側からの要請で、近く開催される「ザリガニ釣り」イベント用の竹竿も、伐り倒した竹の枝などでたくさん作りました。

今日も、事故などもなく定刻の15時に活動を終了して家路につきました。

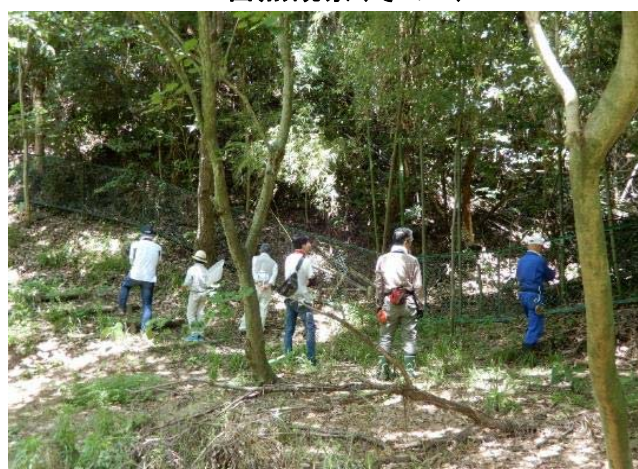
● 次回の活動は、8月3日(土)の予定です。

一年で一番暑い時期ですが、色々な昆虫も姿を見せてくれると思います。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

自然観察(その1)



自然観察(その2)



竹林整備作業(その1)



竹林整備作業(その2)



今日の自然観察日記(その1)

7月に入り、昆虫の活動が活発になる時期になって、今日の金ヶ崎公園は先月の活動に比べると、観察できた昆虫は種類も数もかなり増えました。特にチョウやコウチュウのなかまが多数の種類姿を見せたほかガや、トンボ、カメムシ、ハチ、アブなどのなかまも色々と観察できました。バッタやカマキリのなかまは、まだ成虫になり切れていない幼虫が

その中で、アケビの葉を食べるアケビコノハの幼虫と、ニワウルシの葉を食べるシンジュサンの幼虫のユニークな姿が観察できたのが収穫でした。

ヒメウラナミジャノメ



産卵中のモンシロチョウ



ヒカゲチョウ



コムシジ



アオスジアゲハ



ムラサキシジミ



コシロシタバ



コガネムシ



カナブン



カナブンの緑タイプ



シラホシハナムグリ



シロテンハナムグリ



今日の自然観察日記(その2)

コカブトムシ



キシウブの葉を食べるマメコガネの群れ



ヒメカメノコテントウ



ゴマダラカミキリ



ウチワヤンマ



チョウトンボ



コシアキトンボ(オス)



コシアキトンボ(オス)



ウスバキトンボ



キマダラカメムシ



獲物の青虫を捕らえたセグロアシナガバチ



オオスズメバチ



ミカドジガバチ



キムネクマバチ



今日の自然観察日記(その3)

シオヤムシヒキのペア



カマキリのなかまの幼虫



キリギリスのなかまの幼虫



アケビの葉を食べるアケビコノハの幼虫



ニワウルシの葉を食べるシンジュサンの幼虫



その他の生き物では、腹の大きいカナヘビを見つけました。産卵前のメスかもしれません。また、梅雨時でカタツムリも姿を見せました。

植物では、ネジバナがピンクの可憐な花を、シャシャンボがスズランのような小さな白い花を、またツユクサがミッキーマウスに似た水色の花咲かせていました。

腹の大きいカナヘビ



カタツムリ



ネジバナの花



スズランのようなシャシャンボの花



ミッキーマウスに似たツユクサの花

